

# 2020年CDP気候変動質問書

## 入門

CDP日本事務局

2020年5月

ウェビナー資料



# アウトライン

CDPとは

CDP気候変動

CDPスコアの意味

CDP気候変動質問書ポイント

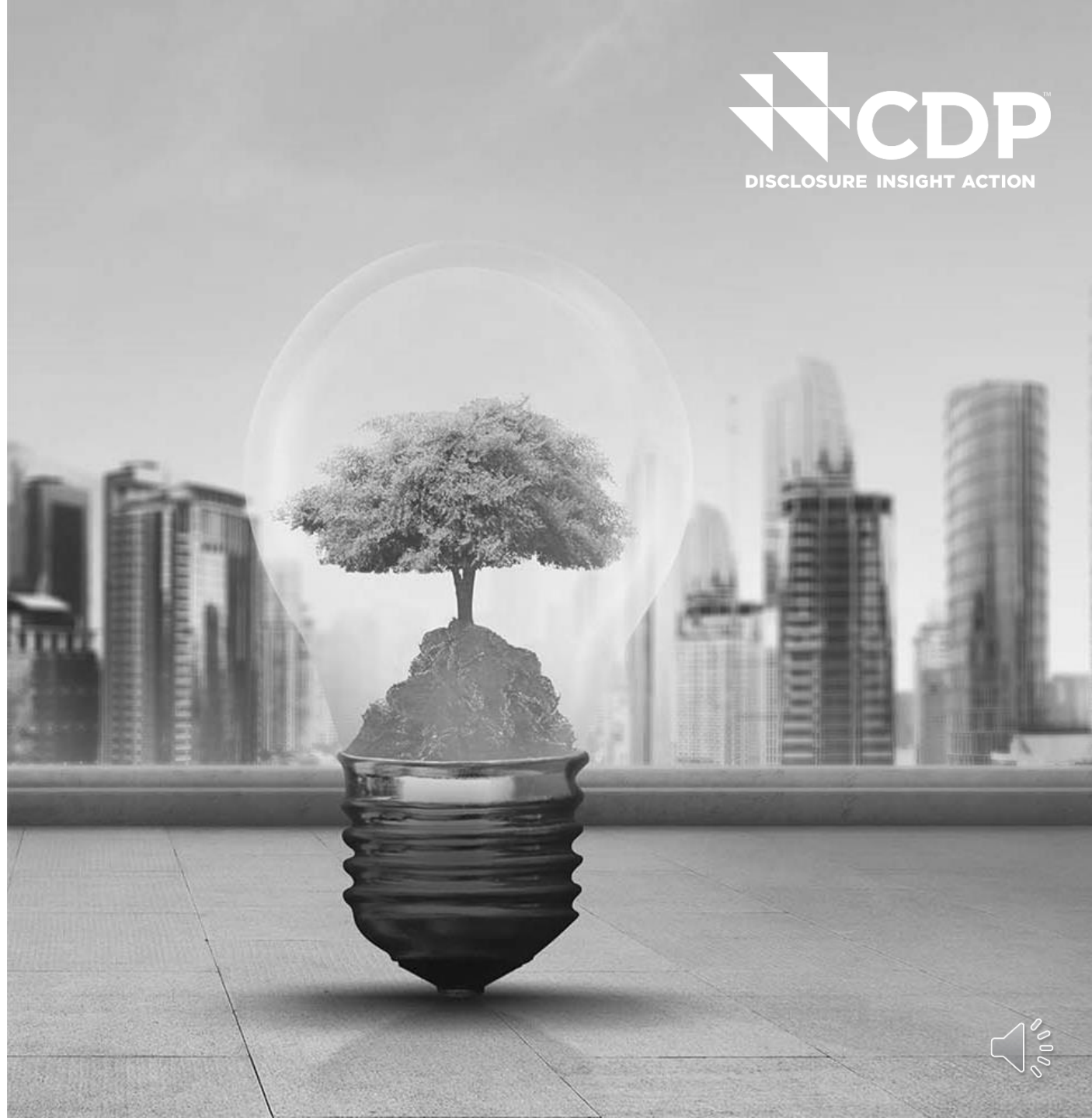


# CDPとは - ビジョンとミッション

CDPは、人々と地球のための長期的な経済の繁栄を実現すべく努めています。



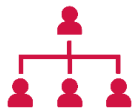
情報開示を通じて、投資家、企業、自治体が、自身の環境影響を認識し、真に持続可能な経済を実現すべく行動を起こすよう促しています。



# CDPとは



投資運用額**106兆ドル**を超える**515**を超える投資家



購買力**4兆ドル**を超える**150**のサプライチェーンプログラムメンバー



**8,400社**を超える企業からの回答



2019年度にJapan500の**63%**が情報開示



**120**を超える地域の環境インパクト



# CDPとは



投資家はCDPのデータを投資判断の一つとして使い、  
企業はサプライヤー選定基準の一つとして利用。

投資家/企業



企業



回答要請



回答要請



環境への影響やリスク、機会、投資、  
戦略を投資家や企業に開示

TCFDに関連した環境情報を記入



# CDPとは



投資家/企業



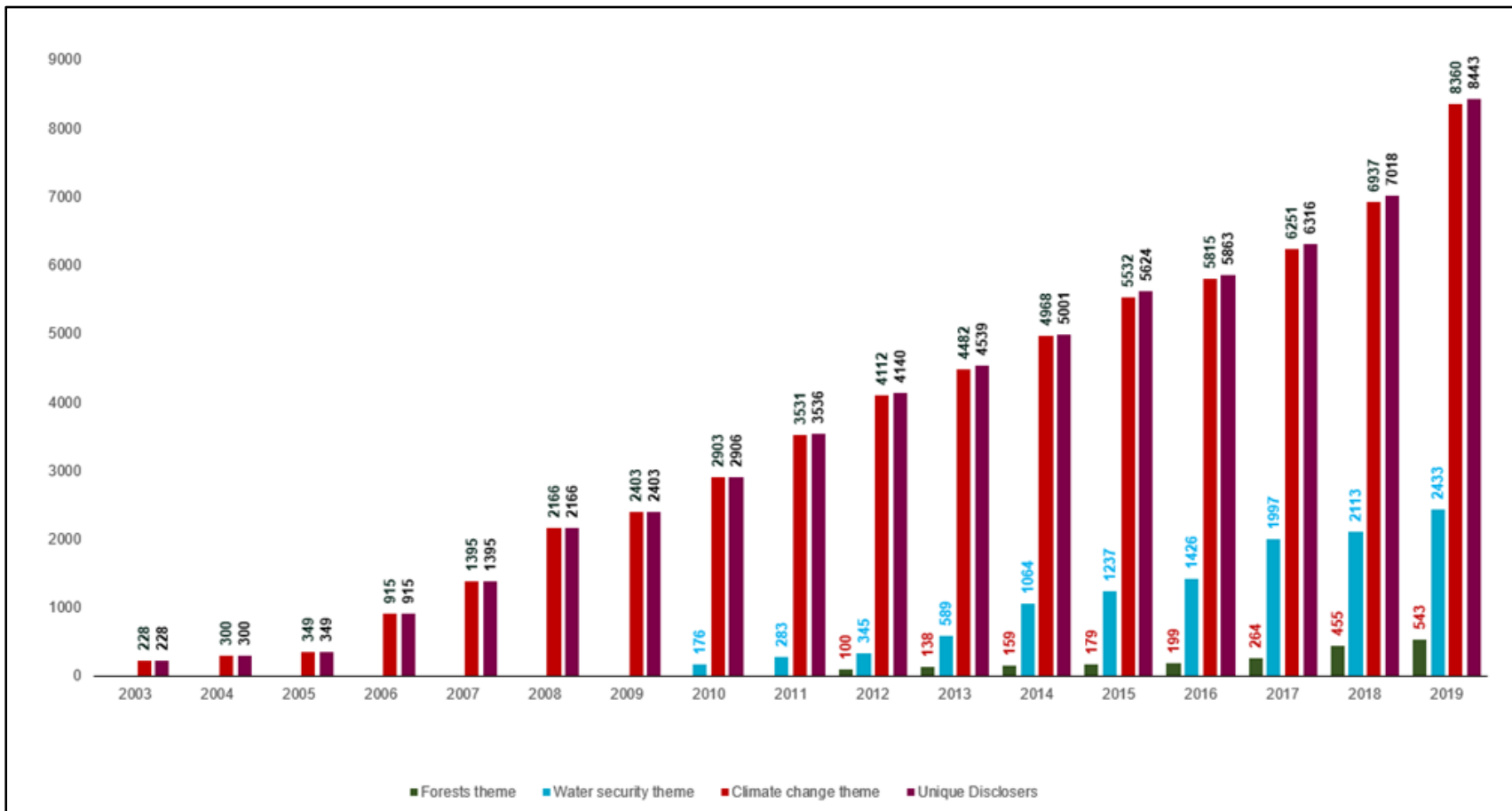
## CDPデータの役割

- 主要な株式情報提供サービス
- 投資家は直接 / 間接的にCDPからの情報を活用



# CDPとは - CDP質問書への回答状況

## 2003 - 2019



2019年度は計8,443  
社が質問書に回答



気候変動  
8360社



水セキュリティ  
2433社



フォレスト  
543社



# CDP気候変動



ガバナンスやリスク/機会、  
GHG排出量及び削減目標など  
について情報の開示

気候変動に伴う企業が直面して  
いる、または今後直面するであ  
ろうリスクと機会の理解促進

石油&ガス、電力、自動車、食  
品、飲料、タバコセクターなど  
に関しては追加の質問

TCFD対応の質問構成





多くの企業は「完全版」の質問書への回答要請を受ける

CDP質問書に初めて回答する企業や年間売上が約250億円より小さい企業は「簡易版」の質問書への回答要請を受ける

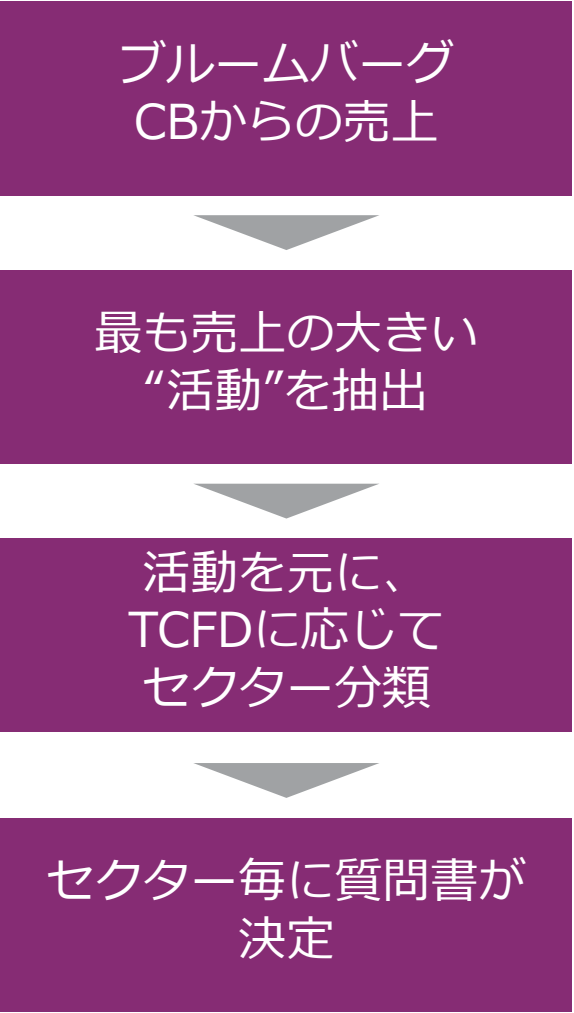
## 回答分類

影響の大きいセクターについては、そのセクターに応じた質問を受ける。  
(TCFDにてセクター別開示が示されている部門)

特定のセクター以外は、「一般」セクター質問に回答する。



# CDP気候変動 - セクター分類方法



ブルームバーグ売上を元に分類

CDP 産業(13)	CDP 活動グループ(49)	CDP 活動(188)	回答セク ター
化石燃料	O&G採掘	石油採掘	石油・ガス
		ガス採掘	石油・ガス
インフラ	建設	公益事業送電線建設	一般
	エネルギー公益ネットワーク	電力公益事業	電力
		ガス公益事業	石油・ガス
	エネルギー以外公益ネットワーク	リサイクル	一般
		廃棄物管理	一般
		水供給	一般

※活動ベースで細かくマッピングしていることから、産業分類とは一致しない場合があります。



# CDP気候変動 - セクターとは？



テーマ クラスター	気候変動 セクター	水セキュリティ	フォレスト
エネルギー	電力事業 石炭 石油・ガス	電力事業 石油・ガス	-
輸送	輸送機器製造 輸送サービス	-	-
素材	セメント 鉄鋼 金属・鉱業 不動産 建設 資本財 化学	金属・鉱業 化学	金属 (MM)・鉱業 (CO)
金融	金融サービス		
農業	食品・飲料・タバコ 農産品 製紙・林業	食品・飲料・タバコ	製紙・林業 (PF)
一般	セクター別質問書に 該当しない全ての企業	セクター別質問書に 該当しない全ての企業	セクター別質問書に 該当しない全ての企業



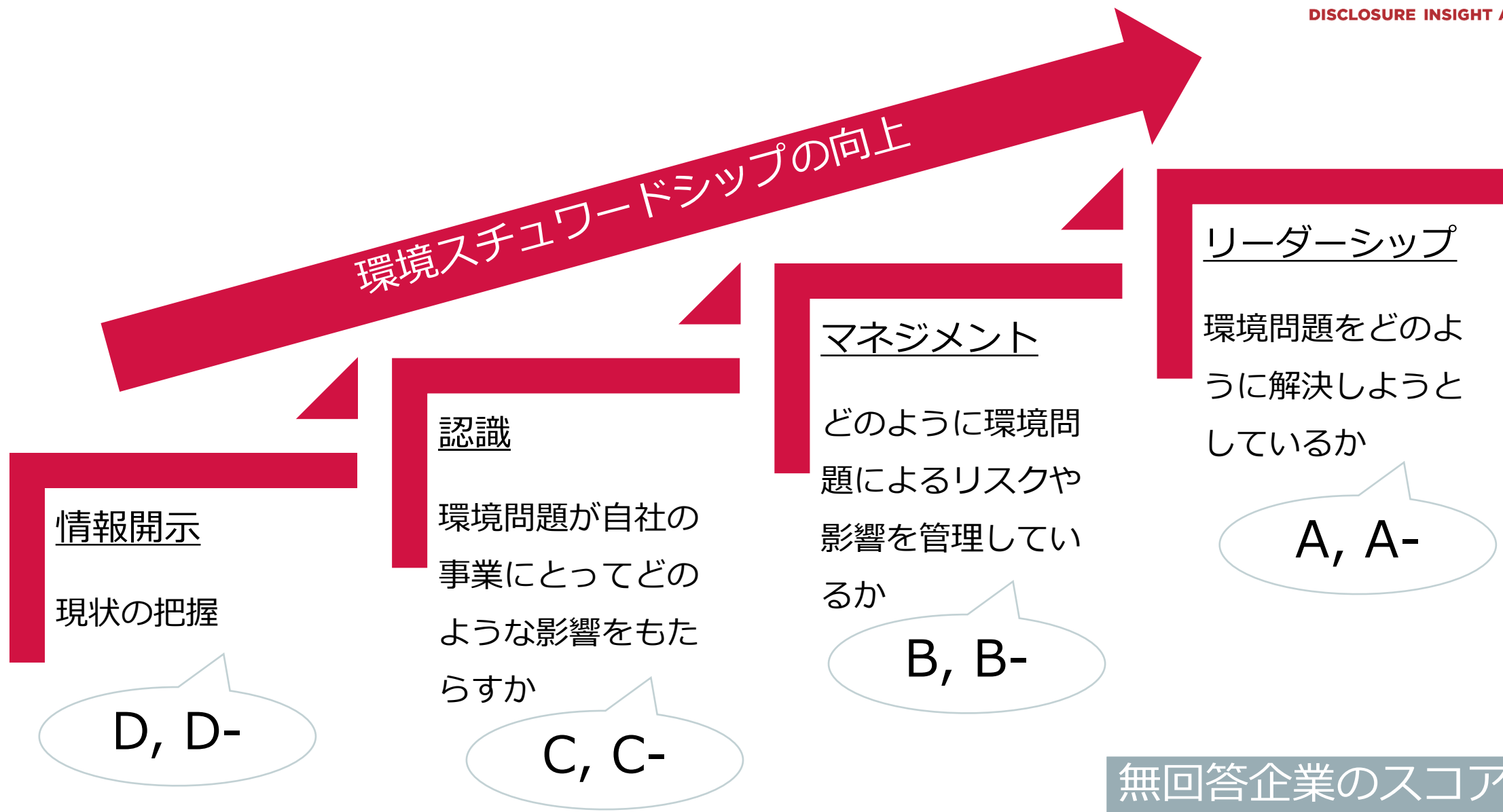
# CDP気候変動 - 質問全体の構造



モジュール	内容
C0 基本情報	企業概要, 報告年, バウンダリ設定
C1 ガバナンス	気候関連課題の扱い方
C2 リスク・機会	企業にとってのリスク・機会の詳細
C3 事業戦略	事業戦略への考慮方法, シナリオ分析・低炭素移行計画について.
C4 目標と実績	削減目標や削減活動による削減実績.
C5 排出量算定方法	C6,C7の算定方法
C6 GHG排出量	スコープ1,2,3の排出量
C7 排出量詳細	C6を国・ガス・部門・拠点別等にて
C8 エネルギー	エネルギー消費, 低炭素エネ消費
C9 追加指標	部門別に生産量や関連指標
C10 第三者検証	スコープ1,2,3の第三者検証等
C11 カーボンプライシング	炭素税・排出量規制, 内部的カーボンプライシング
C12 エンゲージメント(協働)	サプライヤー, 顧客, その他への気候関連のエンゲージメント(協働)活動
C13 土地利用の影響	農業・食品等・林業製紙業のみ, 土地利用による/への影響
C14 サインオフ	回答についての最終承認者



# CDPスコアの意味



# CDPスコアの意味



## 情報開示レベル (D、D-)

- ▼ 回答の完全性を示す
- ▼ データの信頼性と品質の向上を推進
- ▼ 質問書に回答する準備ができているが、スチュワードシップに向けた努力は成熟していない

## 認識レベル (C、C-)

- ▼ 事業で環境問題の影響を考慮していることを示す
- ▼ 開示による透明性を高めるところから進んで、環境問題に関する認識を深めている段階



# CDPスコアの意味



## マネジメントレベル (B、B-)

- ▼環境リスクやその影響に対するアクションをとっていることを示す
- ▼環境リスクやその影響をトラッキングし、緩和したりなくしたりしようとしている

## リーダーシップレベル (A、A-)

- ▼環境問題の管理においてベストプラクティスを行っていることを示す
- ▼環境問題について自社の事業に沿った理解をしており、その認識や実行したアクションについて説明できている

Aスコアの企業は、Aリスト企業＝優秀企業として特別に認定されます。



# ▼ 気候変動 Aリスト 38社

## 製造セクター

小松製作所	日産自動車
ソニー	豊田自動織機
トヨタ自動車	パナソニック
ナブテスコ	富士電機
ニコン	富士フイルムホールディングス
	横浜ゴム

## インフラ関連セクター

積水化学工業	大東建託
積水ハウス	戸田建設
大和ハウス工業	

## 食品・飲料・農業関連セクター

アサヒグループホールディングス  
日本たばこ産業  
キリンホールディングス  
サントリー食品インターナショナル  
住友林業

## 素材セクター

花王  
住友化学  
東京製鐵



CLIMATE

## サービスセクター

ベネッセホールディングス  
富士通  
MS&ADインシュアランスグループホールディングス  
日本電気  
野村総合研究所  
SOMPOホールディングス  
東京海上ホールディングス

## 小売セクター

イオン	アスクル
丸井グループ	リコーリース

## バイオ技術・ヘルスケア・製薬セクター

小野薬品工業  
エーザイ

## 輸送サービスセクター

川崎汽船





# CDP気候変動質問書ポイント / C0 基礎情報



C0.1

御社の概要を記述してください。

C0.2

データを報告する年の開始日と最終日を教えてください。

C0.3

データを提供する対象国を選択してください。

C0.4

回答を通じて経済データに使っている通貨を選択してください。

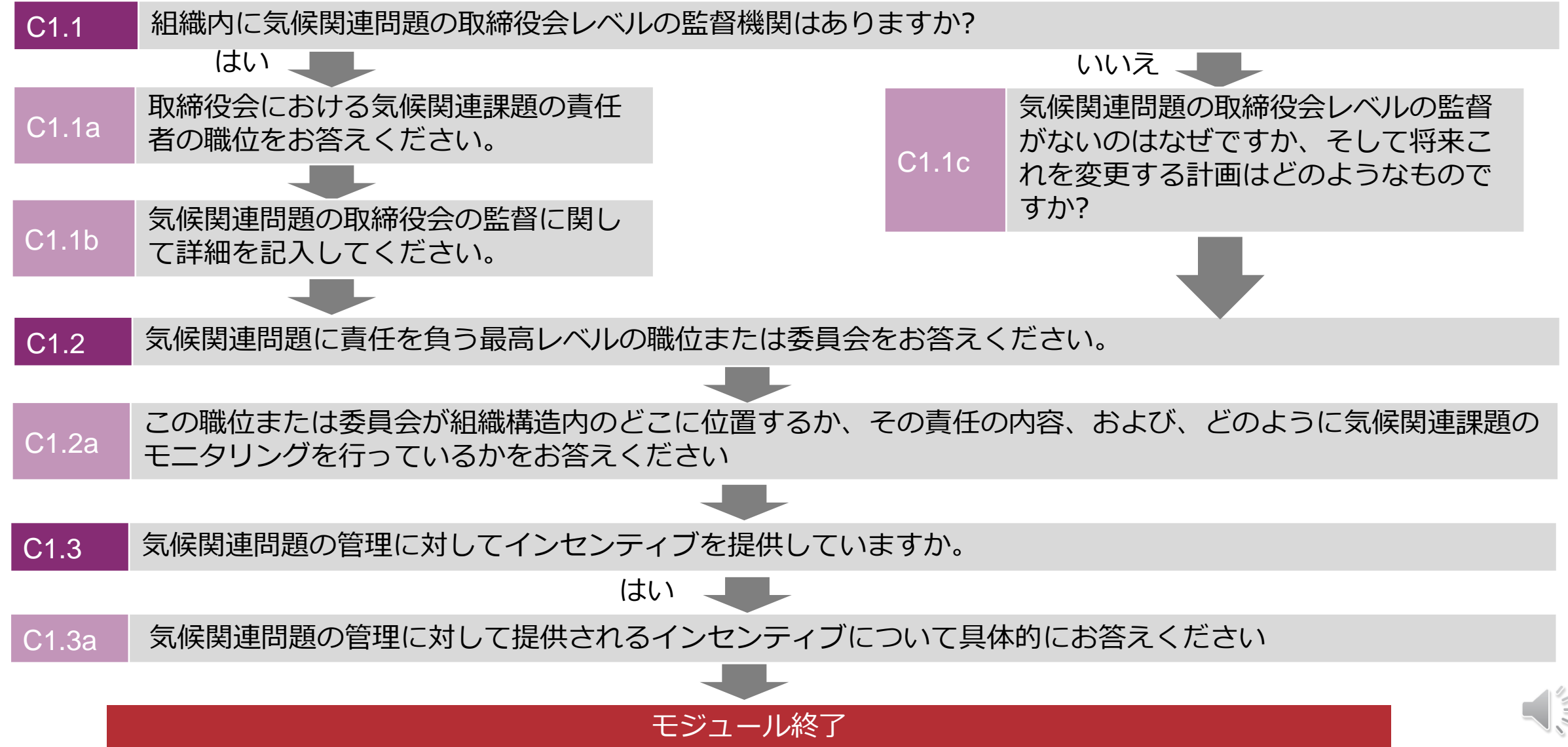
C0.5

御社の事業の気候関連影響の報告の際に設定しているバウンダリ（範囲）について最も当てはまるものを回答ください。なお、この回答は、スコープ1、2のGHG排出インベントリのバウンダリ設定方法と一致する必要があります。

モジュール終了



# CDP気候変動質問書ポイント / C1 ガバナンス(1/2)



# CDP気候変動質問書ポイント / C1ガバナンス(2/2)



**C1.1**

御社では気候関連事項について取締役レベルの監督を行っていますか？

**C1.2a**

これらの役職そして/または委員会は、御社の組織構造のどこに位置し、関連する責任のある分野は何か、気候関連事項をどのようにモニタリングしているかについて、説明してください。

**C1.3**

気候関連事項について、目標達成に対するものを含めて、管理部門に対して何らかのインセンティブを付与していますか？



# CDP気候変動質問書ポイント / C2 リスクと機会(1/2)



C2.2

気候関連リスクと機会を特定・評価・対応するプロセスを説明してください。

C2.2a

どのタイプのリスクが御社の気候関連リスク評価に考慮されていますか。

C2.3

御社の事業に大きな財務的または戦略的影響をあたえる可能性のある固有の気候関連リスクを特定しましたか？

C2.3a

御社の事業に大きな財務的または戦略的影響を与える可能性のあるリスクの詳細を教えてください。



## リスクの種類

現在の規制

新たな規制

技術

法的

市場

評判

緊急性の物理的リスク

慢性の物理的リスク

## 気候関連リスク要因

### 新たな規制

例：・カーボンプライシング  
メカニズム  
・既存の製品およびサービス  
に対する命令および規制

### 技術

例：・既存の製品・サービスを排  
出量の少ないものに置換  
・低排出技術への移行

### 市場

例：・原材料のコスト増加  
・変化する顧客行動



# CDP気候変動質問書ポイント / C3 事業戦略



**C3.1** 気候関連リスクと機会は御社の戦略、そして/または財務計画に影響していますか？

**C3.1a** 御社は気候関連シナリオ分析を事業戦略の参考にしていますか？

**C3.1d** 特定したリスクと機会が御社の事業のどこにどのように影響があるかについて説明してください。

**C3.1e** リスクと機会が御社の財務計画プロセスのどこにどのように考慮されたかについて説明してください。

## 用語説明：シナリオ分析

特定の結果または定性的目標につながる、起こり得る経路を描くためのツール  
例) IEAや2DS、IEA 450



# CDP気候変動質問書ポイント / C4 目標と実績



C4.1

報告年に有効な排出目標がありますか？

C4.1a

総量目標（複数可）の詳細と、目標の達成度合いについて詳細を教えてください。

C4.2

他に報告年に有効な気候関連目標はありますか？  
（再生可能エネルギー導入目標等）

C4.3

報告年内に有効であった排出量削減イニシアチブがありましたか？  
これには、計画段階及び実行段階のものを含みます。

C4.5

既存の御社の製造品や提供サービスについて、低炭素製品と分類されたり、  
第三者の削減に貢献するものはありますか？



# CDP気候変動質問書ポイント / C6 GHG排出量



C6.1

御社のグローバルな総量でのスコープ1の排出量は、CO2換算で何トンでしたか？

C6.3

御社のグローバルな総量でのスコープ2の排出量は、CO2換算で何トンでしたか？

C6.5

御社のスコープ3排出、開示、除外についての説明をしてください。





# CDP気候変動質問書ポイント / C7 排出量内訳



**C7.1** 御社では、温室効果ガスの種類別のスコープ1排出量の内訳を作成していますか？

**C7.2** スコープ1総排出量の内訳を国別／地域別で回答してください。

**C7.5** スコープ2排出量の内訳を国/地域別で回答してください。

**C7.9** 報告年における排出量総量(スコープ1+2)は前年と比較してどのように変化しましたか？



# CDP気候変動質問書ポイント / C8 エネルギー



C8.1

報告年の事業支出のうち何%がエネルギー使用によるものでしたか?

C8.2

御社がどのエネルギー関連活動を行ったか選択してください。

C8.2a

御社のエネルギー消費量合計(原料を除く)をMWh単位で報告してください。



# CDP気候変動質問書ポイント / C10 第三者検証



**C10.1**

報告した排出量についての検証/保証の状況についてお知らせください。

**C10.1a**

御社のスコープ1の排出に対する検証/保証の詳細を記述し、  
該当する資料を添付してください。

**C10.1b**

御社のスコープ2の排出に対する検証/保証の詳細を記述し、  
該当する資料を添付してください。

**C10.1c**

御社のスコープ3排出に対する検証/保証の詳細を記述し、  
該当する資料を添付してください。



# CDP気候変動質問書ポイント / C11 カーボンプライシング



**C11.1**

御社の操業や活動がカーボンプライシング(ETS, 排出キャップ&トレード, 炭素税など)による規制を受けていますか？

**C11.1a**

御社の操業に影響をあたえるカーボンプライシング規制を選んでください。

**C11.1d**

御社が参加または参加すると想定しているシステムにおける遵守のための戦略をおしえてください。

**C11.2**

御社はプロジェクトによる炭素クレジットを報告期間内に創出または購入しましたか。



# CDP気候変動質問書ポイント / C12 エンゲージメント



**C12.1**

気候関連事項について、御社のバリューチェーンをエンゲージメント（協働）していますか？

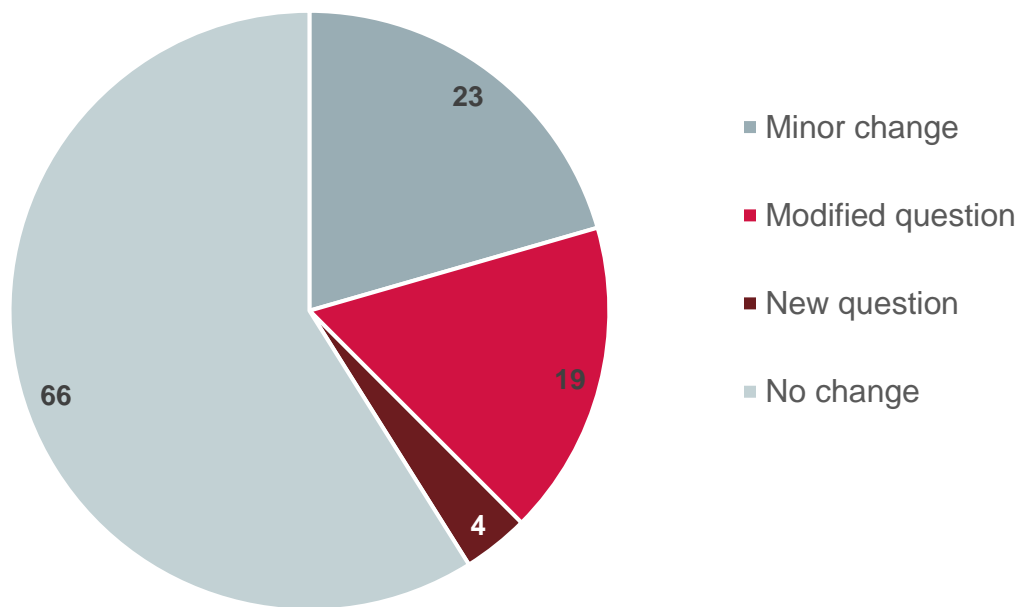
**C12.4**

報告年における御社の気候変動や温室効果ガス排出の動向について、CDPへの回答以外に公開（出版）した情報はありますか？ある場合、出版物を添付してください（複数可）。



# 2020年変更の概要

## 2020年気候変動質問書



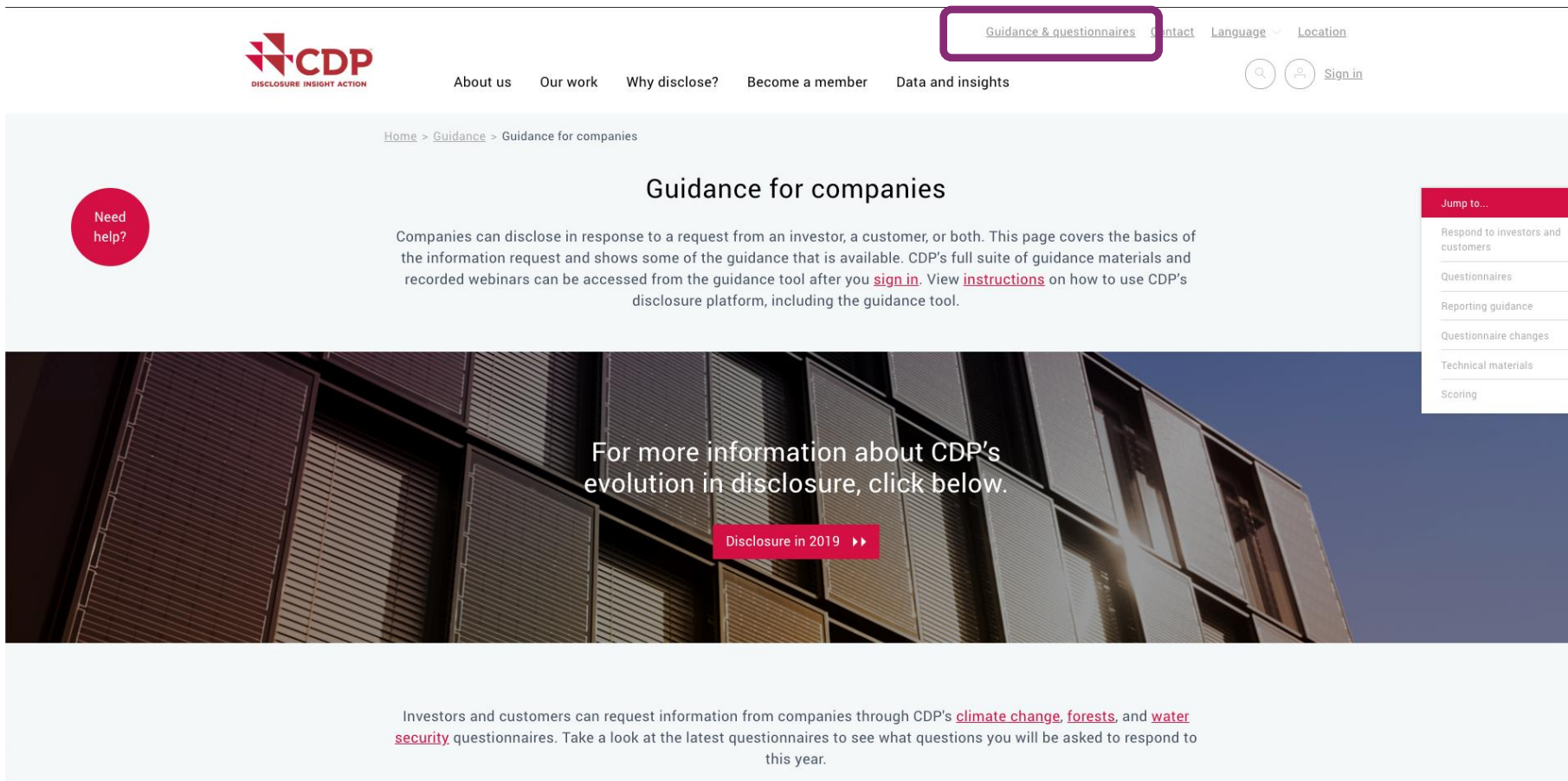
2020年質問総数: **112**  
(2設問の純減)

- ▼ 一般設問の80%について、変更なし、ないしは微修正
- ▼ 重複する内容について、4つの新しい設問が加わり、19の設問について修正を行うことで、重複を排除したり、何を聞いているかを明確化したり、設問の流れを最適にした。また、3つのテーマ（CC,W,F）間の統一も図った。
- ▼ セクター別新たな設問数:
  - 不動産: 12
  - 建設: 10
  - 資本財: 8
  - 金融サービス: 純増 4



# 質問書の変更点

CDP HPに質問書、ガイダンス、スコアリング基準、変更点などが掲載されておりますのでご覧ください。



CDP  
DISCLOSURE INSIGHT ACTION

Guidance & questionnaires Contact Language Location

About us Our work Why disclose? Become a member Data and insights

Search Sign in

Home > Guidance > Guidance for companies

Need help?

## Guidance for companies

Companies can disclose in response to a request from an investor, a customer, or both. This page covers the basics of the information request and shows some of the guidance that is available. CDP's full suite of guidance materials and recorded webinars can be accessed from the guidance tool after you [sign in](#). View [instructions](#) on how to use CDP's disclosure platform, including the guidance tool.

Jump to...

- Respond to investors and customers
- Questionnaires
- Reporting guidance
- Questionnaire changes
- Technical materials
- Scoring

For more information about CDP's evolution in disclosure, click below.

Disclosure in 2019 >>

Investors and customers can request information from companies through CDP's [climate change](#), [forests](#), and [water security](#) questionnaires. Take a look at the latest questionnaires to see what questions you will be asked to respond to this year.





## CDPジャパン事務局

Address: 東京都千代田区大手町2-2-1新大手町ビル3階



Tel: +81 (0)3 6225 2232



[www.cdp.net/ja/japan](http://www.cdp.net/ja/japan) (日本語サイト)



Contact email address:  
[japan@cdp.net](mailto:japan@cdp.net)

本ウェビナーの内容、CDPウェブサイトに記載している日本語版の内容は、CDP日本事務局が、日本企業の皆様向けに日本語での説明を行うために作成したものです。最新の状況を反映しきれていない可能性もありますので、正しくは英語版をご参照ください。

